

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			タッチセラピー等で落ち着いた療育ができるよう個室を設け、有効に活用できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			個別療育のほか、室内運動を主とした小集団活動にも注力しているので常時5人以上の職員がチームを作り、指導に当たっている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室内はバリアフリーだが、玄関やトイレにわずかな段差があるため改善できるよう努力したい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			高坂教室・桜新町教室と日々の目標と振り返りについて共有。PDCAを有効活用する為の勉強会も実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		付き添いで来所された際、あるいは送迎の際に保護者へのヒアリングを行い、意向を把握している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			結果だけでなく、改善策や将来的なビジョンについても公開するよう努めている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	連携機関から3教室の総合的な評価を伺う機会はあるが、今後は新形町教室独自の評価についてもご意見をいただきたいと考えている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			積極的に県内外への研修へ参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			新形町教室だけでなく、多角的かつ客観的な視点で計画を作成できるよう高坂教室・桜新町教室担当者との意見交換も欠かさず行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			利用者1人1人の能力や特性、能力に関する情報を得るために有効活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			教室内のチームのほか、高坂教室・桜新町教室とも連携。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			計画→実行→評価→改善を繰り返し、ブラッシュアップを図っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		土曜日の預かりの需要が高まっているため、平日同様のサービスを提供できるよう検討を重ねる必要あり。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別と集団のどちらが適切かきちんと見極めた上で、お子様の個性に添ったサービスを提供している。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			教室だけでなく、全社で共有して確認ミスがないように努めている。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			口頭での打ち合わせだけでなく、必ず記録に残すようにして正確な共有を図っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			独自の様式に則って、正確に記述できるよう心掛けている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			毎月1度以上、モニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			複数のガイドラインの主要ポイントを反映しながら日々の支援にあたっている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			毎回、役員と担当者がペアになり、少なくとも2人以上の職員が参画するようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			大きな問題に発展する前に、小さな変化も共有できる関係を構築している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			県立こころの医療センター、荘内病院、鶴岡協立病院など各医療機関の主治医と連携を密にしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			複数の保育所、幼稚園等との情報交換は時間的に容易ではないが、これらとの相互理解は不可欠であるため、きちんと行うよう努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	まだ実績はないが、将来的に就労支援事業所を設置したいと考えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			酒田市はなまし学園、鶴岡市障害者相談支援センターなどと定期的な意見交換を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	近隣には小学校・中学校・高校・大学があり、交流の機会や職場体験の受け入れ等を検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	協議会と連携する機会はまだ少ないが、研修等には積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お子様とのコミュニケーションと同じくらい、保護者との意見交換も重視している。何でも話せる信頼関係を築けるよう尽力している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			困りごと相談のほか、家庭内で親子で取り組める療育の指導、子育てについてのアドバイスをを行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			パンフレットやホームページ等でも詳細を公開している。
保護者						

白 へ の 説 明 責 任 等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			父母どちらかに一方的に肩入れすることなく、総合的な情報をもとに客観的な視点での助言を心掛けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者同士の情報交換会・交流会の回数を増やしたいと考えている。
非 常 時 等 の 対 応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			担当職員レベルではなく、全ての苦情については弊社代表も一緒になって対応にあたっている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		現在の連絡手段は書面や電話が主だが、もっとレスポンスを早めるためSNS等も活用すべきか試案中。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			警備会社とも契約し、厳重に管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子様とは意図をくみ取れるまで根気強く意思疎通を図り、保護者とはヒアリングの機会を増やすよう心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民の積極的な介入はリスクも伴うと考えている。メリット・デメリットをきちんと見極めた上で慎重に判断していきたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	防犯マニュアル等の詳細は保護者へ全て公開できないが、お子様を守るために自社で取り組んでいるマニュアルについてはきちんと説明責任を果たしたい。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1度、定期的に避難訓練を実施している。	
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止の講習会へ積極的に参加している。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	様々なケース及び時代背景に添ったガイドラインを策定できるようPDCAを繰り返し、日々最良の事案を提供していきたい。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			毎日のおやつ等は医師の指示書に従い、個別に対応している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			気付いた時点ですぐに記録し「ヒヤリ」を繰り返さないよう、3教室全てで事例を共有している。	